



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 前田道路株式会社

コード番号 1883 URL <http://www.maedaroad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 磯 昭男

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部長

(氏名) 岡山 昇平

TEL 03-5487-0011

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	103,223	6.2	7,685	12.1	8,172	10.5	5,004	7.8
26年3月期第2四半期	97,204	1.9	6,854	14.2	7,392	13.7	4,642	24.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 6,640百万円 (2.1%) 26年3月期第2四半期 6,503百万円 (74.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	58.04	—
26年3月期第2四半期	53.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	210,013	73.3	154,182	69.5		
26年3月期	215,606		150,154			

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 153,863百万円 26年3月期 149,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	30.00	30.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	4.3	20,900	4.3	21,400	2.9	13,200	5.0	153.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	94,159,453 株	26年3月期	94,159,453 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	7,939,756 株	26年3月期	7,930,190 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	86,225,021 株	26年3月期2Q	86,253,187 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
部門別受注高・売上高・次期繰越高明細表(個別)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当グループを取り巻く環境は、政府による経済財政政策等の効果により、公共投資は堅調に推移し、また、企業の設備投資は増加しているものの、原材料価格や労務費の高騰など、依然として厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、当グループは建設事業においては民間発注工事の受注確保に努め、製造・販売事業においては、建設廃棄物のリサイクルなどの循環型事業に継続的に取り組むことにより、販売数量の確保と採算性の維持に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の受注高は1,138億6千3百万円（前年同期比6.4%増）、売上高は1,032億2千3百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は76億8千5百万円（前年同期比12.1%増）となりました。また、受取配当金及び貸倒引当金戻入額等の影響により経常利益が81億7千2百万円（前年同期比10.5%増）、固定資産除却損及び法人税等の影響により四半期純利益は50億4百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

なお、当グループは、連結会計年度の売上高における下半期の売上高の割合が大きくなるといった季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業の当第2四半期連結累計期間の受注工事高は770億7千2百万円（前年同期比9.0%増）、完成工事高は661億5千4百万円（前年同期比9.2%増）となり、営業利益は44億9千3百万円（前年同期比27.6%増）となりました。

(製造・販売事業)

製造・販売事業の当第2四半期連結累計期間のアスファルト合材及びその他製品売上高は367億9千万円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は50億6千万円（前年同期比3.4%減）となりました。

(その他)

当第2四半期連結累計期間のその他売上高は2億7千9百万円（前年同期比5.5%減）となり、1千3百万円の営業利益（前年同期1千2百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ81億9千3百万円減少し、1,169億8千3百万円となりました。これは主に、回収による受取手形・完成工事未収入金等の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ26億円増加し、930億2千9百万円となりました。これは主に、時価の上昇に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ55億9千3百万円減少し、2,100億1千3百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ95億8千2百万円減少し、389億6千万円となりました。これは主に、支払いによる支払手形・工事未払金等の減少及び納税による未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3千7百万円の減少と著しい変動はなく、168億7千万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ96億2千万円減少し、558億3千1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ40億2千7百万円増加し、1,541億8千2百万円となりました。これは主に、利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想については、平成26年5月15日発表の業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に係る会計処理の方法)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	21,232	23,429
受取手形・完成工事未収入金等	51,482	37,196
有価証券	36,333	37,834
未成工事支出金等	4,126	7,061
その他	12,395	11,661
貸倒引当金	△392	△200
流動資産合計	125,176	116,983
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	12,715	12,516
機械・運搬具(純額)	13,750	13,540
土地	41,899	42,244
その他(純額)	1,376	2,248
有形固定資産合計	69,741	70,549
無形固定資産	1,465	1,325
投資その他の資産		
投資有価証券	13,482	15,719
その他	5,818	5,504
貸倒引当金	△78	△68
投資その他の資産合計	19,222	21,155
固定資産合計	90,429	93,029
資産合計	215,606	210,013
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	29,799	23,195
未払法人税等	6,101	2,793
未成工事受入金	2,206	3,280
賞与引当金	3,040	2,951
引当金	602	518
その他	6,793	6,221
流動負債合計	48,543	38,960
固定負債		
退職給付に係る負債	16,226	16,174
その他	681	696
固定負債合計	16,908	16,870
負債合計	65,451	55,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,350	19,350
資本剰余金	23,086	23,086
利益剰余金	113,343	115,753
自己株式	△4,542	△4,558
株主資本合計	151,238	153,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,046	4,402
為替換算調整勘定	△127	△212
退職給付に係る調整累計額	△4,308	△3,959
その他の包括利益累計額合計	△1,389	230
少数株主持分	305	318
純資産合計	150,154	154,182
負債純資産合計	215,606	210,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	97,204	103,223
売上原価	85,557	90,881
売上総利益	11,647	12,341
販売費及び一般管理費	4,793	4,656
営業利益	6,854	7,685
営業外収益		
受取利息	47	22
受取配当金	126	132
為替差益	88	71
貸倒引当金戻入額	92	161
その他	210	123
営業外収益合計	565	511
営業外費用		
その他	27	25
営業外費用合計	27	25
経常利益	7,392	8,172
特別利益		
固定資産売却益	15	17
投資有価証券売却益	119	23
ゴルフ会員権売却益	—	14
収用補償金	45	—
その他	0	1
特別利益合計	181	56
特別損失		
固定資産除却損	32	183
その他	26	32
特別損失合計	59	215
税金等調整前四半期純利益	7,515	8,013
法人税等	2,861	2,992
少数株主損益調整前四半期純利益	4,653	5,020
少数株主利益	10	16
四半期純利益	4,642	5,004

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,653	5,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,806	1,355
為替換算調整勘定	44	△84
退職給付に係る調整額	—	349
その他の包括利益合計	1,850	1,620
四半期包括利益	6,503	6,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,490	6,624
少数株主に係る四半期包括利益	13	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,515	8,013
減価償却費	3,255	3,462
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△87	△202
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49	△88
退職給付引当金の増減額(△は減少)	580	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	488
受取利息及び受取配当金	△174	△155
為替差損益(△は益)	△39	△72
固定資産除却損	32	183
売上債権の増減額(△は増加)	14,623	14,257
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△2,046	△2,935
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,449	△6,595
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,872	1,073
その他	△950	△719
小計	13,083	16,709
利息及び配当金の受取額	174	161
法人税等の支払額	△5,010	△5,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,246	10,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△18,494	△29,994
有価証券の売却及び償還による収入	14,498	29,997
信託受益権の取得による支出	△24,397	△25,477
信託受益権の償還による収入	24,297	25,389
有形固定資産の取得による支出	△5,180	△3,761
有形固定資産の売却による収入	857	34
その他	435	△921
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,983	△4,733
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,162	△2,594
その他	△25	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,188	△2,613
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,908	3,546
現金及び現金同等物の期首残高	40,404	37,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,496	41,418

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設事業	製造・ 販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	60,603	36,306	96,909	295	97,204	—	97,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	12,375	12,375	261	12,636	△12,636	—
計	60,603	48,681	109,285	556	109,841	△12,636	97,204
セグメント利益又は損失(△)	3,522	5,236	8,758	△12	8,746	△1,892	6,854

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース業務、保険代理業務及びコンサルタント業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△1,892百万円には、セグメント間取引消去28百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,921百万円が含まれている。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設事業	製造・ 販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	66,154	36,790	102,944	279	103,223	—	103,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	13,200	13,201	243	13,444	△13,444	—
計	66,154	49,991	116,145	522	116,668	△13,444	103,223
セグメント利益	4,493	5,060	9,554	13	9,567	△1,881	7,685

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース業務、保険代理業務及びコンサルタント業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△1,881百万円には、セグメント間取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,891百万円が含まれている。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

4. 補足情報

部門別受注高・売上高・次期繰越高明細表（個別）

(単位:百万円、%)

区 分		前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		増 減		(参 考) 前事業年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	
受注高	工事部門	アスファルト舗装	52,813	51.2	61,108	55.3	8,294	15.7	106,669	48.2
		コンクリート舗装	1,035	1.0	977	0.9	△57	△5.6	3,037	1.4
		土木工事	14,131	13.7	12,612	11.4	△1,518	△10.7	28,927	13.1
		計	67,980	65.9	74,698	67.6	6,718	9.9	138,634	62.7
	製品部門	35,184	34.1	35,742	32.4	558	1.6	82,481	37.3	
	合 計	103,164	100.0	110,441	100.0	7,276	7.1	221,115	100.0	
売上高	工事部門	アスファルト舗装	44,636	47.7	50,549	50.6	5,913	13.2	107,491	48.5
		コンクリート舗装	931	1.0	1,337	1.3	406	43.6	2,783	1.3
		土木工事	12,793	13.7	12,255	12.3	△537	△4.2	28,681	13.0
		計	58,360	62.4	64,142	64.2	5,782	9.9	138,957	62.8
	製品部門	35,184	37.6	35,742	35.8	558	1.6	82,481	37.2	
	合 計	93,544	100.0	99,885	100.0	6,340	6.8	221,438	100.0	
次期繰越高	工事部門	アスファルト舗装	26,191	78.0	27,750	81.1	1,559	6.0	17,192	72.7
		コンクリート舗装	963	2.9	753	2.2	△210	△21.8	1,112	4.7
		土木工事	6,435	19.1	5,700	16.7	△735	△11.4	5,343	22.6
		計	33,590	100.0	34,204	100.0	613	1.8	23,647	100.0
	製品部門	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合 計	33,590	100.0	34,204	100.0	613	1.8	23,647	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示している。